

4

計画の実現に向けて

1. 実現に向けた基本的な考え方
2. 実現のための推進方針

1. 実現に向けた基本的な考え方

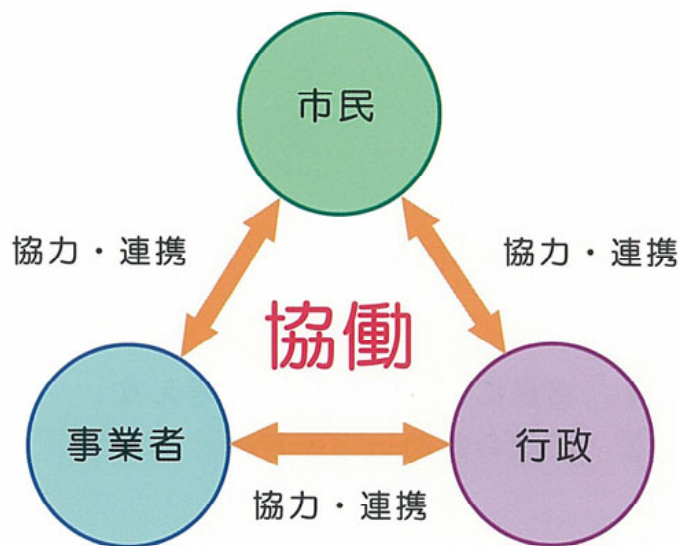
今後は、『草津市都市計画マスタープラン』に基づいて、都市づくりを進めていくことが重要です。その際の基本的な考え方を以下に示します。

(1) 市民・事業者・行政の協働によるまちづくりの推進

従来のもちづくりは、行政主導という認識が強く、行政が策定する計画に市民が参加するといった枠組みで進められてきました。しかしながら、これからのまちづくりは、将来に向けた目標を共有し、市民・事業者・行政がそれぞれの役割分担のもとに話し合い、協力・連携しながら協働によるまちづくりを推進していくことが重要です。

特に、市民・事業者は、自らがまちづくりの主役であることを認識し、行政に対してまちづくりの提案を行っていくことが重要です。

■これからのまちづくりのあり方



(2) 効果的・重点的なまちづくりの取り組み

厳しい財政状況の中で、「全体構想」あるいは「地域別構想」で掲げた“都市づくりのテーマや目標”を効果的に実現するためには、本市のまちづくりにおいて特に重要な施策を重点的に推進していくことが重要です。

(3) 都市計画マスタープランの進行管理

都市計画マスタープランは、中・長期的な目標に対して定めた計画であり、社会経済状況や市民の価値観の変化などに対応しながら、「全体構想」あるいは「地域別構想」で掲げた“都市づくりの方針”を着実に実現していくことが重要です。

したがって、地域の実態や変化、事業の進捗状況などを把握しながら、横断的な計画の管理を推進していくことが重要です。

また、定期的に計画内容を検証し、草津市総合計画や大津湖南地域都市計画区域マスタープランなどの上位計画と整合を図りながら、市民参画のもと計画の見直しを柔軟に行っていくことが重要です。

